



ひのき 63th

牛久一中 学校だより
2024.11.1 No. 8
(文責 教頭：池邊)

絆 ～Respect and Care～ 尊重と助け合い 体育祭開催

10月10日(木)、牛久第一中学校の体育祭が行われました。今年度は雨の影響で予行が実施できず、生徒の動きや係活動の確認が不十分なまま本番となってしまいました。そのような状況の中でも、「協和」「賢明」「剛健」の各団長は、よりよい学校行事にしようとリーダーシップを発揮しました。特に、応援合戦は、応援団員を中心とした迫力ある演技で観る人たちを魅了しました。

結果は、総合優勝「協和団」、応援合戦の部の優勝「賢明団」でした。解団式において、団長をはじめとする応援団員は、団員に向けて感謝の言葉を述べていて素晴らしかったです。また、各団の団長はお互いの団の健闘を称え合っていました。このような姿から、フェアプレーの精神が最後まで貫かれていると感じ、牛久一中の生徒たちを改めて誇らしく思うことができました。



協和団



賢明団



剛健団



1 学期終業式、2 学期始業式 決意をあらたに

10月15日(火)には1学期終業式、2学期始業式を行いました。学期の切り替えという節目を迎え各学年の代表生徒から、1学期の振り返りと2学期への抱負が発表されました。どの代表生徒からも合唱コンクール等の学校行事を充実させたい、様々な学校生活の場面で助け合う関係をつくるとともに周りの人に配慮した行動がとれるようにしたいとの発表がありました。2学期も学校生活のあらゆる場面を通して、生徒たちが心身ともに成長することを期待したいと思います。



1年生代表 内門 心絆さん



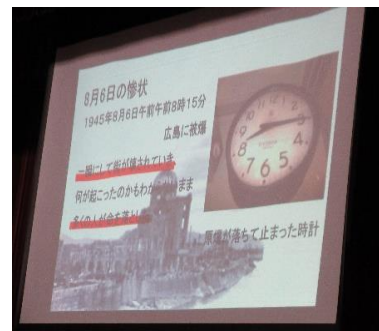
2年生代表 片山 叶翔さん



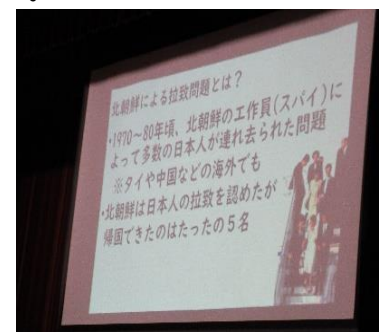
3年生代表 稲岡 朱莉さん

広島平和使節団・拉致問題に関する中学生サミットの報告会

広島平和使節団に参加した2年生4名(仲内梨紗さん、井上侑海さん、鋤田壮太さん、横山沙季さん)が、広島での研修を終えてまとめた内容を発表しました。生徒たちは広島に原子爆弾が投下された時の惨状を資料や被爆体験者の梶本淑子さんから聞いた内容をもとにまとめました。4人の生徒からは、過去の過ちを忘れないでほしい、今平和に過ごしていることを当たり前と思わず、一日一日を大切にしてほしい等のメッセージが伝えられました。



3年生の松倉璃奈さんが拉致問題に関する中学生サミットに茨城県代表として参加しました。今から47年前に横田めぐみさんが拉致された問題について、過去の悲しい問題ではなく今解決できる私たちの問題であると発表しました。このサミットに参加した松倉さんは、拉致問題は一刻も早い解決が必要であることを肌で感じ、全校生徒に向けて堂々と発表することができました。



誰もが尊重される社会を目指して ～性的マイノリティ理解促進講演会～

10月24日(木)にNPO法人RAINBOW茨城の滑川友理さんを講師にお迎えして「性的マイノリティ理解促進講演会」を全校生徒対象に開催しました。LGBTの基本的な知識、セクシャリティについての具体的な事例、SOGI(性的指向と性自認)ハラスメント等について詳しくお話をしていただきました。この講演会を通して、生徒は誰もが尊重される社会について学ぶことができました。

講演の中では、滑川さんが母親にカミングアウトした当時のことを語りました。滑川さんの葛藤がストレートに語られ、生徒の心に響く言葉だったと思います。生徒は、講演会全体を通して、日常生活において周囲に配慮しなければならないこと、自分自身の行動・言動で気を付けなければならないこと等を改めて考えることができました。講演会で学んだことを今後の生活に生かしてほしいと思います。

